

遠隔病理診断 ICT ネットワークの整備・全国展開

【提案先】厚生労働省、総務省、内閣官房、内閣府

1. 提案内容

提案項目名

遠隔病理診断 ICT ネットワークの整備ならびに全国展開

- 我が国初の遠隔病理診断 ICT ネットワークシステムを滋賀において確立
- 術中診断を含む迅速診断が病理医不在病院で可能
- 全国的病理医不足の解消
- ICTを活用し、全国の医療機関の診断、診療業務の合理化の推進
- 人材（病理診断臨床検査技師等）の育成、臨床討議（テレカンファレンス）による病理診断力の向上
- 今後、広域連携病理診断ネットワークの構築、持続可能・安定的運営の基盤確立により、上記項目を全国的に展開

2. 提案の理由

- 死因の第一位は、がん。高齢化の進行とともに、今後、ますます増加
- がんの確定診断に不可欠な病理医は全国的に不足
- 「ICT活用システムによる広域展開」は、医療面の2025年問題の対応に極めて有効
- 本事業展開は、必要な人材育成（雇用）、安全、高質な医療の提供、医療費の合理的使用につながり、そして健康創りに帰結する。

本県の取組状況と今後の展開

○取組状況

- (1) 遠隔病理診断ネットワークが平成25年7月から運用開始
- (2) 現在、13施設が参加
- (3) 平成25年度 病理診断件数は124件
- (4) 病理担当技師の教育指導、関連職に対する普及啓発のため、「地域ICT利活用連携シンポジウム」を実施

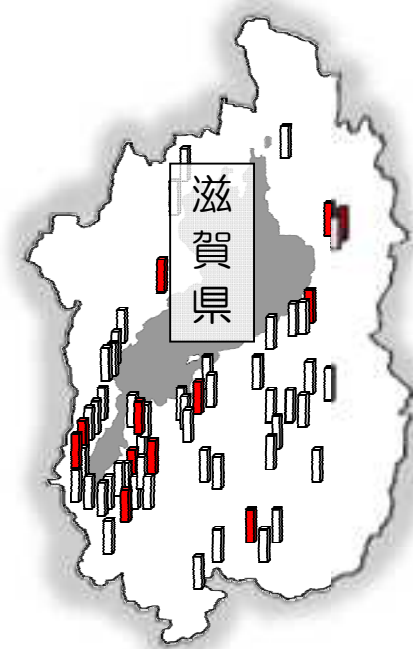
○今後の展開

- (1) 病理診断体制の更なる整備（システム・人材・運用）
- (2) 他府県に向けた病理診断体制の広域展開

病理診断体制を全県下に、さらに全国へ

滋賀県内のすべての病院で

他府県の病理医不在病院へ



病理医
在



病理医
不在